

若年起業家教育事業【旭川市】

個別事業費	853 千円
交付金額	426 千円

地域の実情と課題

女性の就業率は全国に比べて非常に低く、就業形態も非正規雇用が男性の2倍以上になっている。また、ロールモデル不足、キャリア形成の困難さから、地域での女性活躍の将来像を描きづらい環境となっている。本市では若年層の転出が多くなっているが、男性は進学での転出が多いことに比べ、女性は就労のタイミングでの転出が高くなっており、女性が職業生活で活躍できる社会全体の環境整備が求められている。

事業の特徴

将来的な地域雇用創出の基盤整備を目的に、学生等の若年女性を対象とした全4回のセミナーを実施。キャリアデザインの重要性やIT活用、起業をテーマとし、地域内での起業やITスキルを活用して地域外から報酬を得る女性の育成を図った。また、ワークショップを通じて参加者間の交流を促進し、将来の活動につながるネットワーク形成の契機とした。さらに、講師との対話を通じて専門家との連携や課題解決の個別支援を提供したことで、具体的なキャリア形成を支援した。

事業の効果

キャリアデザインの重要性やIT活用、起業等の多様な選択肢を提示するとともに、自己に必要な事項を見極めるための思考や手段を提供した結果、参加者の約8割が将来的な地域での就労又は起業に対して興味・関心を持つことができた。また、事業に参加した学生起業家が、講師との対話の機会において直接的な助言を受けたことにより、人脈の構築及び課題の整理を行い、今後の事業展開に活用することができた。

目的・目標

若年女性を対象に、キャリアデザインの重要性とIT活用や起業という選択肢を考える学習機会を提供し、地域の雇用につながる起業や、ITスキルによって市内に暮らしながら地域外からの報酬を獲得できる女性を創出するための基盤を形成する。

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	将来的に地域での就労や起業に興味を覚えた人数	参加者の5割 (アウトカム)	参加者の8割	160%
事業KPI	事業参加人数	10人 (アウトプット)	11人	110%

連携団体

市内各高等教育機関、民間企業(委託先)、旭川大雪圏域連携中枢都市圏、旭川市経済部

今後の課題

市内の各学校に直接説明し周知協力を依頼したが集客には苦戦した。単発的な学校との関わりでは集客の効果が限定的であり、ターゲット層に対する継続的かつ計画的な働きかけや、対象者が「参加したい」と感じるような機運を醸成するため、日常的に信頼関係を構築し得るネットワーク形成を進める必要がある。

MINT 「仕事」ってなんだろう？から始める一歩

若年女性を対象に、キャリアデザインの重要性とIT活用や起業という選択肢を考える学習機会を提供し、地域の雇用につながる起業や、ITスキルによって市内に暮らしながら地域外からの報酬を獲得できる女性を創出するための基盤を形成。

- 【対象者】 市内に通学または市内在住の大学生・高専生、専門学校生、高校生等（女性限定）、既卒20代までの女性
- 【場 所】 デザインギャラリー
- 【参加者】 11人



Day1 「働く」を選ぶときの基準を知る

令和7年7月18日（金）18:00～20:00
内容：講義「働くとお金の基本を知る・考える」＋ワーク

Day2 女性の「暮らす」をデザインするために必要な「考え方」を知る

令和7年7月19日（土）10:00～12:00
内容：ライフデザインワーク

Day3 デザインする人の「基準」を知る

令和7年7月25日（金）18:00～20:00
内容：講義「ものづくりの考え方」＋ワーク

Day4 「基準を持つとは」を体験する

令和7年7月26日（土）10:00～12:00
内容：「ワタシ」のSNSを考えるワーク



結果・実績

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	将来的に地域での就労や起業に興味を覚えた人数	参加者の5割（アウトカム）	参加者の8割	160%
事業KPI	事業参加人数	10人（アウトプット）	11人	110%